

風土かふえ

Part 7



2018年12月16日(日)

12:00~16:00

立教大学 池袋キャンパス
太刀川記念館3階カンファレンス・ルーム

対 象:教職員、学生、大学院生、一般

問合せ:立教大学ESD研究所(esdrc@rikkyo.ac.jp)

入退場自由

参加費無料

シンポジウム —としまで快適に暮らすには— 13:15~15:15

豊島区の人口の約1割(約3万人)が外国籍を持った人たちで、その数は年々増加しています。外から来た人たちと、地元の人たちが豊島区でともに快適に暮らしていくために、私たちはどうすれば良いのでしょうか？
本シンポジウムでは、以下の登壇者それぞれのお話を基に、その答えを考えます。

- 外国人の方への社員研修 谷酒 匡俊さん 養老乃瀧株式会社執行役員
- 外国人から見た日本での生活 コリナ・ラザレスクさん グラス工芸作家
- 国際アート・カルチャー 都市としての豊島区の位置づけ 横山 結希さん 立教池袋高等学校3年
- 行政サービス 澤田 健さん 豊島区多文化共生推進担当課長

ミニコンサート 12:30~13:00

出演:You-Yu Bounce

都内を中心に活動しているJazz & Pops & R&Bをベースとしたアコースティックユニット。池袋西口公園等でチャリティーイベントに参加する等、音楽活動を通じた地域づくりに積極的に貢献している。



活動展示 (常時)

西池袋及び豊島区で活動している団体の活動展示

詳細はこちら



お茶とお菓子
コーヒーも飲めるよ!



主 催:としまプロジェクト運営協議会、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「ESDによる地域創生の評価と

ESD地域創生拠点の形成に関する研究」(研究代表者・阿部治)、立教大学 ESD研究所、立教大学 ESD地域創生研究センター

共 催:西池袋南町会、マテックス(株)、NPO法人としまNPO推進協議会、NPO法人ゼファー池袋まちづくり、NPO風土-Kazetsuchi-

協 力:養老乃瀧株式会社、阿部治ゼミ、豊島区、みらい館大明、国際交流のおみこしを担ぐ会、立教フェアトレードパートナー、NPO法人Fam

後 援:豊島区



シンポジウム登壇者

横山 結希 さん(立教池袋高等学校3年)

【国際アート・カルチャー都市の視点】

立教池袋高等学校3年在学中。卒業論文で「国際アート・カルチャー都市豊島区-池袋の発展と今後の展望-」をまとめる。この論文は、同高校の教員以外に豊島区長にも読まれ、絶賛されました。シンポジウムの最初の登壇者として、高校生から見た池袋の新たな魅力・可能性についてお話いただきます。

澤田 健 さん(豊島区多文化共生推進担当課長)

【外国籍を持った人への行政サービスの視点】

企画課長、セーフコミュニティ推進室長、公民連携推進担当課長を兼務。来日後初めて豊島区で生活を始める留学生のための動画を、7言語で制作しYouTubeで公開しています。年々外国籍の居住者が増えている豊島区ですが、今回は多文化共生のまちづくりについて、行政の立場からお話いただきます。

コリナ・ラザレスク さん(グラス工芸作家)

【外国から見た日本での生活の視点】

舞台衣装、ダンサーのファッションデザイナーとして来日。その後、ダンスの振付師として舞台にも立つ。世界空手道連盟士道館士魂村上塾に入門。女性部門の初代チャンピオンとなり、師範として後進を育成。豊島区を中心に外国人や日本人に語学の指導もしています。また、ルーマニア・フランス・オーストラリアのグラス工芸の日本での普及にも尽力しています。実際に地域で活動・生活している外国人の立場から見た日本での生活についてお話いただきます。

谷酒 匡俊 さん(養老乃瀧株式会社 店舗運営・開発グループ営業戦略セクション 執行役員)

【外国人が日本で働くための視点】

教育関連会社勤務を経て、養老乃瀧株式会社に入社。現在は執行役員営業戦略セクション責任者。フードビジネスのスペシャリストとして様々な店舗業態を開発し、数多くの出店を手掛けています。養老乃瀧株式会社は、豊島区との「社会貢献活動の推進に関する協定」に基づいて、豊島区での地域活動を支援しています。今回は実際に多くの外国人就労者を抱える企業が、どのように外国人への社員研修を行っているのかを語っていただきます。

阿部 治 (立教大学ESD研究所所長、社会学部・同研究科教授)

ESD(持続可能な開発のための教育)の第一人者として、様々な講演会やイベントを開催。ESD研究所は、研究活動のみならず、豊島区行政やNPO・NGOなどとともに地域に根付いた活動もしています。今回のシンポジウムのまとめ役。